



仲良くホタテ料理に挑戦する親子

地場産品への理解とPTA会員の親睦を目的に12月6日、親子で学ぼうホタテ料理教室（洞爺湖町PTA連合会など主催）が、健康福祉センターさわやかで開かれ、会員など23人が参加して、ホタテ料理に挑戦しました。

今までは講演会を中心に開催していましたが、今回は趣向を変えて参加型の取組みを実施。

調理の前には、胆振地区水産技術普及指導所の今野さんといぶり噴火湾漁協青年部長の福島さんから、ホタテの生育や実際の作業の手順などについて説明を受けました。

調理では、ホタテピラフ、ホタテポタージュ、ホタテバーグのソースかけ、季節の野菜サラダの4品を作り上げ、おいしいホタテ料理を参加者で味わいました。

地場産ホタテ料理 親子仲良く挑戦

災害から地域を守る 町自治会連合会研修会

平成26年度洞爺湖町自治会連合会の研修会が、12月6日あぶたふれ合いセンターで、地域における防災活動をテーマにして開催され、自治会役員など約110人が参加しました。

福井政吉同会長が「それぞれの自治会が組織づくりをしないと災害から守れない。今まで以上に高い意識をもたなければならない」と挨拶。

講演会では、最初に鈴木清隆企画防災課長が洞爺湖町の進めている防災対策について説明を行い、引き続き室蘭地方気象台の須河正美予報官から防災気象台の利活用を題材



防災をテーマにした自治会連合会研修会

に話しがありました。近年全国で災害が多発していることもあり、役員の方々は熱心に聞き入っていました。

駅前広場を彩るイルミネーション 幻想的な雰囲気を演出

JR洞爺駅前を彩るイルミネーションの点灯が、12月12日から始まりました。洞爺湖町商工会が毎年クリスマス前に実施しているものです。当日は、駅交流センターで、点灯式を兼ねてチャリティコンサートも開かれ、一足早くクリスマスムードを演出しました。

午後5時になると、約4,000個のLED電球で作られたイルミネーションがともされ、駅前に幻想的な空間が生まれました。

親子連れや学校帰りの高校生らは、7色に染め上げられたイルミネーショントンネルをゆっくりとくぐり抜け、幻想的な雰囲



楽しそうにトンネルを通る高校生

気を楽しんでいました。点灯期間は2月12日まで。毎日17時～21時30分。



サンタクコースからプレゼントもらい喜ぶ子どもたち

ピノキオクリスマス会が、12月13日地域交流センター多目的ホールで開かれ、園児や低学年の児童たち約40人が、紙芝居や読み聞かせを楽しみました。

ピノキオ読み聞かせの会（佐藤美代会長）が、毎年行っている行事。

当日は、絵本の読み聞かせや紙芝居、手品、パネルシアター、エプロンシアターなどの趣向を凝らした八つの演目が披露され、子どもたちを喜ばせました。

最後に、英国青年の2人がサンタクコースに扮して、お菓子をプレゼントし、クリスマス会を盛り上げました。

読み聞かせで楽しむクリスマス サンタからお菓子のプレゼント

ピノキオクリスマス会が、12月13日地域交流センター多目的ホールで開かれ、園児や低学年の児童たち約40人が、紙芝居や読み聞かせを楽しみました。



まちのわだい